

### 「東日本大震災から学ぶ」シンポジウム開催

六月十八日(土)、県社会福祉会館にて、「第一回東日本大震災から学ぶシンポジウム」が、本会介護老人保健施設協議会の主催で開催されました。被災地の復旧・復興

に向けた支援が続く中、震災直後の被災地の状況や支援経過の報告を焦点に、災害対策の在り方について考える場となりました。

初めに出口康雄さん(社全国老人保健施設協会業務部長)から、全国事務局の初動対応について基調講演があり、続いて避難所での介護職員・災害支援看護師の派遣活動について、事例報告がありました。

介護職員の派遣については、漆間伸之さん(横浜市老人保健施設連絡協議会副会長)から、岩手県陸前高田市の福祉避難所での支援の様子が報告されました。一般避難所では生活が難しく、特別養護老人ホームや病院での受け入れが難しい方たちを支えるために、地域に福祉避難所にふさわしい場所を想定し、確保することが課題であると述べました。

柳田聖子さん(横浜旭中央総合病院看護師)は、災害支援看護師の宮城県気仙沼市への派遣報告として、

避難所で臨機応変に対応することの難しさを語りました。専門職として一人ひとりに向き合いながらも、常に全体を見据えた判断・行動が求められるため、優先して対応すべきことは何か等、常に悩み、葛藤していたことが率直に伝えられました。

さらに佐藤信弘さん(株日清医療食品横浜支店長)から全国展開する食事提供サービスのネットワークを生かした食糧確保等について説明されました。



会場との質疑応答では、被災地に派遣した後のサポートについて質問があり、派遣職員は「何もできずに帰ってきてしまった」という思いを抱えている場合が多く、積極的に労いの言葉をかけることや、職員同士が語り合う場を持つ必要性が共有されました。介護老人保健施設協議会では、今後の災害対策について検討を深め、年度内に第二回目のシンポジウム開催を予定しています。

本会では、施設部会や障害の協議会においても、災害対策の在り方を学ぶシンポジウムを予定しています。

(企画調整・情報提供担当)



### 福祉作文、ともしびポスター・絵本 作品募集中!



名称	第35回神奈川県福祉作文コンクール	第32回ともしびポスター・第25回ともしび絵本コンテスト
応募資格	県内在住・在学の小学生、中学生、特別支援学校生、フリースクール等の通学生	県内在住・在学の小学生、中学生、高校生、特別支援学校生、フリースクール等の通学生
内容	<p>(1)内容 福祉について日常を通して感じたこと、考えていること、体験したこと、こうしていきたいと思っていることなど 〈例〉☆障害のある方々との交流やお年寄りとのふれあい ☆地域、学校・家庭での体験 ☆福祉施設の方々との交流 ☆幸せな社会をつくるため、こうしていきたいと考えていること ☆赤い羽根共同募金の活動に参加して感じたことなど</p> <p>(2)題名=自由</p> <p>(3)字数=小学生 B4版400字詰め原稿用紙を使用し、800字~1,000字以内 中学生 A4版400字詰め原稿用紙を使用し、1,600字~1,800字以内 ※最初の行に題名・学校名(団体名)・学年・氏名(ふりがな)記入(この部分は字数に含めません)</p>	<p>テーマ「みんながともに生きるまち」</p> <p>(1)ポスターの部 ※テーマにふさわしい言葉・文字を入れてください。 ①用紙=画用紙B3判(51.5cm×36.4cm)もしくは4つ切判(54cm×38cm)に準じる ②画材=カラーペン、絵の具、クレヨン、ポスターカラー、色画用紙等</p> <p>(2)絵本の部 ①用紙=原則として、画用紙B4判(26cm×36cm)2枚を半分にし、B5判(18cm×26cm)4枚にしたもの ②頁数=原則として、表・裏表紙を含む8頁 ③綴じ方=ひも・ホチキス等を使用、縦・横使いは自由 ④画材=ポスターの部に同じ ⑤文=絵の上でも空いているところでも可、文の形式は文章・詩・吹き出しのいずれでも可 ※作品の裏には必ず所定の応募票を貼ってください(合作の場合は、合作者の応募票も貼ること)。 ※学校で応募される場合は、必ず指定の応募者名簿に必要事項を記入した上で、ご応募ください。</p>
締切日	平成23年9月8日(木)	平成23年9月8日(木)
応募先・問合せ先	<p>〈応募先〉 学校ごとに、県共同募金会の各市区町村支会内「福祉作文コンクール事務局」へ送付してください。</p> <p>〈問合せ先〉 (1)(福)神奈川県共同募金会 ☎045-312-6339 (2)本会地域福祉推進部ともしび運動推進担当 ☎045-312-4813</p>	<p>(1)または(2)まで、学校等で取りまとめの上、送付または持参してください。 (1)本会地域福祉推進部 ともしび運動推進担当 ☎045-312-4813 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 かながわ県民センター内 (2)お近くの市町村社会福祉協議会(持参のみ受付) ※横浜市及び市内各区、川崎市各区内の社会福祉協議会では受付しておりませんので、(1)に送付または持参してください。</p>

※詳しい募集案内や、昨年度の入選・入賞作品はホームページに掲載しています (<http://www.knsyk.jp/tomosibi/index.html>)